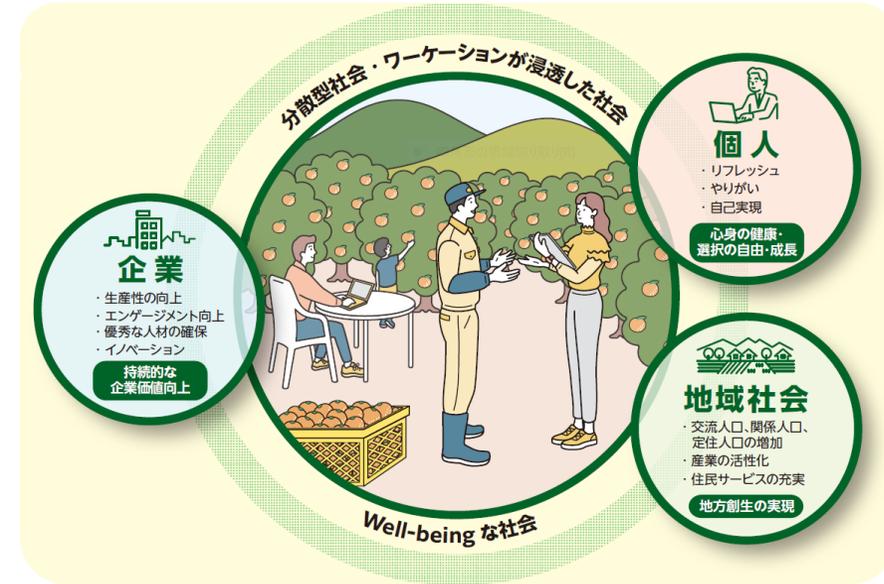


二地域居住等促進に向けた取組みについて

東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部
2025.3.12
全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム
第2回専門部会（負担軽減部会）

1. これまでの取組み：ワーケーション施策の推進

- 都市住民のWell-Being向上、地域への人流拡大による地域活性化を目指し、ワーケーション商品の企画販売



【JRE Workation Pass】

- ✓2022年度～販売の、販売価格内に往復列車と宿泊の割引クーポン、ワークスペース利用券等を含むサブスク型商品
- ✓企業向け、自治体向け、個人向けに販売
- ✓自治体向け商品については、移住定住施策等でご活用



【JRE Workation チームビルド】

- ✓2022年度～販売の、鉄道・宿以外は自由にカスタマイズ可能なセミオーダー型プラン（オーダーメイド型の旅行商品）
- ✓研修をメインテーマとしながら、地域コンテンツの体験等の用途でも活用



2. 地域コミュニティスペース整備の取組み

- ワーケーション推進にあわせ、地域自治体と連携し地域でのコワーキングスペース等整備も実施

◆施設事例

「JRE Local Hub 燕三条」

場 所：燕三条駅改札外 びゅうプラザ跡地

開 業：2023年2月17日（金）

営業時間：平日9時30分～19時、土日祝10時～19時

燕三条地域の技術や人々をエリアや世代を超えてつなぐ地方創生型ワークプレイス。ものづくりコンシェルジュが常駐する「燕三条こうばの窓口」を併設し、地域に点在する100以上の工場とのビジネスマッチングを行い企業の商品開発をサポートする。また、地元自治体三条市や各工場と連携した教育プログラムを開催して産業振興や雇用創出に貢献する。



01 燕三条こうばの窓口

地場工場とをつなぐものづくりの総合窓口。燕三条地域の100以上の会員工場等とのビジネスマッチングサービスを主軸にニーズをカタチに。またものづくりをはじめとした様々な地域情報を発信。



02 コワーキングスペース

利用者同士のコミュニケーションを促進するローラーコンベア型のロングシートを備えたフリースペースやWEB会議に最適な個室ブースご用意

3. 二地域居住促進に向けて

●ワーケーションの取組みを基盤としながら、Well-Beingな社会実現のための新たなライフスタイルとして二地域居住を提案



① **対象者を特定**することで、より「個」のエンゲージメント向上に貢献可能な取組みへ

② 空き家対策等、**自治体の課題感とも密接に対応**することで更に官民連携した取組みへ

関係自治体

- ・ハード、ソフト両面での取組み支援
- ・二地域居住者の特定(証明書の発行等)

地域プレイヤー

- ・コミュニティ拠点等の経営・運営参画

ブリッジコミュニケーター
として機能



JR東日本グループ

- ・アドバイザー企業の紹介
- ・グループ媒体活用した情報発信
- ・駅・駅ビル周辺の場の提供

jekí

地域課題解決

関係人口創出

二地域居住者に向けた地域交流の場(コミュニティ・ゲートウェイ)づくり

施設利用における
Suicaキー認証

JRE ID
JRE IDによる
対象者の行動追跡

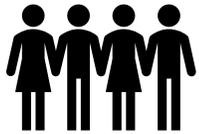


4. 二地域居住に伴う移動費負担軽減の方向性

- 自治体と交通事業者が連携し、二地域居住者への移動費負担の軽減を検討
 実証実験段階では、JRE POINT等を活用し、二地域居住者への交通費補助等を予定
 ＊ 将来的な補助費用負担については、官民連携による制度検討が必要。

JR東日本グループでの過去実施事例

二地域居住
モニターツアー参加希望者



申込

対象者として
選定され、
参加決定

二地域居住
モニターツアー参加者
(少数名)



① きっぷ手配

⑤ JRE POINT還元



会員情報収集

- ・氏名
- ・性別
- ・JRE POINT番号
- ・連絡先(メールアドレス)
- ・個人情報の同意

関係自治体等と
連携して組織する団体
※ 今後新幹線沿線自治体等と
継続議論

- ② 各会員番号の存在確認
- ③ モニターツアーにおける利用実績確認

④ 利用金額の●%のポイント原資を支払



きっぷ申込サイト「えきねっと」